

【来自厚生労働省的信息】

平成 22 年度 “为了加深对遗华日本人理解的论坛会”

【概要】

为进一步了解对遗华日本人等所经历的苦难人生及现状，并以扩大开展地区社会中的支援范围为目的的“为了加深对遗华日本人理解的论坛会”，于 2 月 12 日（星期六）在爱知县名古屋市召开。

在此次论坛会中演出了描写遗华日本人苦难人生的话剧《望郷・そして飛翔》，同时还举办了由著名艺人、有识人士及归国者等参加的“公开讨论会”。

当天约有 450 名观众由名古屋市内以及周边县市町村前来到会，在热烈掌声中闭幕。到会者表示；“这是一次能对遗华日本人加深理解的好机会”、“为能让归国者感到‘还是回到祖国好’想自己能为他们做些什么”等纷纷谈了自己的感想。

厚生労働省为能让遗华日本人等成为地区社会中的一员，充满活力地生活，在就近地区提供学习日语的场所、与居民加深交流的机会等，深入开展支援工作。今后还希望大家加深对遗华日本人的理解并提供热诚的支援。

【会场场景】【会場の様子】



(公开论坛会) (パネルディスカッション)



(会场)



(资料展示)

【厚生労働省からのお知らせ】  
平成 22 年度「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」開催

【概要】

2 月 12 日（土）、愛知県名古屋市において、中国残留邦人等の方々の苦難の人生と現状について、知って、理解を深めていただき、地域社会での支援の輪が広がることを目的に「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムでは、中国残留邦人の苦難の人生を描いた「劇団公演（望郷・そして飛翔）」や、著名人や有識者、帰国者等による「パネルディスカッション」を行いました。

当日は、名古屋市をはじめとして近隣の市町村や近県等から約 450 人が来場し、盛会裡に終えることができました。来場者からは「中国残留邦人等の方々への理解が深まり、良い機会だった。」「帰国された方々が日本に帰ってきて良かったと思っていただけるよう、自分のできることを考えていきたい。」などといった感想が寄せられました。

厚生労働省では、中国残留邦人等の方々、地域社会の一員として生き生きと暮らすことができるよう、身近な地域で日本語を学ぶ場や地域住民の方々と交流を深める機会の提供といった支援を行っています。今後とも皆様のご理解と温かいご支援をお願いいたします。

(劇団演出《望郷・そして飛翔》)

(劇団公演《望郷・そして飛翔》)

